

第2回 学校運営協議会報告

今回の学校運営協議会では、前半に授業参観を行い、子どもたちの学習活動の様子を観ていただきました。後半は令和6年度前期の教育活動や環境整備、家庭・地域連携についての報告と話し合いをしました。また、最後には、地域連携・学習支援といった視点から意見交換を行い、委員の皆様からさまざまなご意見をいただくことができました。地域とともにある学校づくりを進めていく上での貴重な会となりました。

1 開催日時 令和6年10月31日（木）午前9時30分～午前11時30分

2 場 所 大里中学校会議室

3 出席者 14名（14名中14名出席）

4 内 容

（1）校長あいさつ

（2）授業参観

（3）今年度の取組の報告について

① 前期教育活動について

- ・ 学習面の取組、生活面の取組

② 教育環境の整備について

- ・ 今年度の環境整備状況、来年度に向けた備品・施設要望

③ 家庭・地域連携について

- ・ 外部講師の招聘、部活動外部コーチとの連携
- ・ 大里西地区まちづくりとの連携
- ・ 地域への情報発信、学校公開日の設定
- ・ P T A活動

（4）委員からのご意見など

地域コーディネーター（地域学校協働活動推進委員）より、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進について、お話をいただいた。

- ・ 地域学校協働活動（本部）・・・学校の教育活動を熟知した上で、互いに連携しながら、学校教育目標達成のために何ができるのかを、地域コーディネーターと校長が中心となって考える組織である。
- ・ 「地域が学校のために何をするのか」ということを考えるだけでなく、「地域のお祭りの企画・運営を子どもたちに部分的に任せる」など、生徒たちが、地域の活性化のために主体的に関わり、地域で楽しく活動することが大切。
- ・ 現在実施している活動の中で、先を見通し継続していけそうなものや、地域の実情に合わせて、取り組んでいくことができそうなものから始めていく。

5 意見交換

(1) 地域連携

- ・ 地域で行われた「ふれあい文化祭」に、里中生も地域の一員として参画した。地域の方々の支援があつて代々続いている伝統の「里中乱舞」を、恩返しの意味を込めて地域にお披露目することができた。また、地域の方々に吹奏楽部の演奏や、ポスターなどの作品を見ていただき学校の様子を知っていただくことは、地域の方々にも生徒の活動を応援していただくことにつながった。
- ・ 既に行われている地域との交流行事を更に充実させるために、中学生が「参加でなく参画するという意識をもつこと」が大切である。中学生が準備の段階から参加し、自分たちに何ができるかを考えながら取り組んでいかせたい。
- ・ 今後も地域子どもまつりにボランティアとして参加し、祭りの手伝いを行うことで地域に貢献する。
- ・ 引き続き、学校においても生徒の自己肯定感を高め、地域でも自信をもって活躍できる子どもたちを育てることが、地域連携につながると考える。

(2) 学習支援

- ・ 発表会など、タブレットP Cを有効に活用している様子を見ることができた。
- ・ タブレットP Cのメリット・デメリットを教師が理解した上で、学びを深める必要がある。
- ・ タブレットP Cを通して、見て学ぶことや板書をノートに書いて学ぶことをバランスよく行ってほしい。
- ・ 授業参観を通して、1年生の緊張した表情、2年生の堂々と発表する様子、3年生の生き生きと授業に取り組む姿から、それぞれの学年毎の成長を感じることができた。

○ 第3回学校運営協議会について

- 1 開催日時 3月10日(月)
- 2 場 所 大里中学校会議室
- 3 議 題
 - ・ 学校運営基本方針の振り返り
 - ・ 学校評価の結果報告及び分析

